

## 第9期

# 運用報告書(全体版)

## アジア・オセアニア好配当成長株 オープン(1年決算型)

【2021年10月11日決算】

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「アジア・オセアニア好配当成長株オープン(1年決算型)」は、2021年10月11日に第9期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ  
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2013年9月25日から、原則として無期限です。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資し、安定的な収益の確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	当ファンドは、以下の投資信託証券に投資します。 ○イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド(適格機関投資家専用) ○日本マネー・マザーファンド
	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド(適格機関投資家専用)	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式を主要投資対象とします。
	日本マネー・マザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。株式および外貨建資産への直接投資は行いません。
	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド(適格機関投資家専用)	外貨建資産および株式への実質投資割合には制限を設けません。
	日本マネー・マザーファンド	株式および外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年10月10日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 繰越分を含めた配当等収益には、日本マネー・マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。	

アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）

◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額			債券 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
(第5期)2017年10月10日	12,968	0	23.4	0.1	96.4	2,404
(第6期)2018年10月10日	12,062	0	△ 7.0	0.1	95.0	2,596
(第7期)2019年10月10日	11,419	0	△ 5.3	0.2	97.5	2,655
(第8期)2020年10月12日	12,106	0	6.0	0.2	98.3	2,586
(第9期)2021年10月11日	13,691	0	13.1	0.2	97.5	2,324

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) 当ファンドは「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資しておりますが、①特定の国・地域について基本となる特定の投資比率を定めていないこと、②配当利回り重視の銘柄選定を行っているため、時期により国・地域別の投資比率が大きく変動することなどの理由から、ベンチマーク、参考指数等を設けておりません。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

◎当期中の基準価額と市況の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	投資信託証券組入比率
	騰落率			
(期首)	円	%	%	%
2020年10月12日	12,106	—	0.2	98.3
10月 末	12,006	△ 0.8	0.1	97.6
11月 末	13,250	9.4	0.1	99.9
12月 末	13,376	10.5	0.1	96.9
2021年 1月 末	14,532	20.0	0.1	95.9
2月 末	15,479	27.9	0.1	97.5
3月 末	15,406	27.3	0.1	97.2
4月 末	15,501	28.0	0.1	97.3
5月 末	15,275	26.2	0.2	98.9
6月 末	15,292	26.3	0.1	97.5
7月 末	14,043	16.0	0.1	96.8
8月 末	13,841	14.3	0.1	96.4
9月 末	13,587	12.2	0.2	97.9
(期末)				
2021年10月11日	13,691	13.1	0.2	97.5

(注) 騰落率は期首比。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

（2020年10月13日～2021年10月11日）



期首：12,106円

期末：13,691円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：13.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2020年10月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

##### （主なプラス要因）

- 新型コロナウイルスのワクチン接種の進展による経済活動の正常化への期待のなか、金融などのシクリカルセクターや引き続き安定した需要が見込める情報技術における保有銘柄の株価上昇がプラス要因となりました。
- 国・地域別では韓国やオーストラリアなど、セクター別では情報技術や金融などの上昇がプラス要因となりました。

##### （主なマイナス要因）

- 中国当局による国内の民間企業に対する規制強化懸念から中国における一般消費財・サービスセクターの保有銘柄の株価下落がマイナス要因となりました。

## 投資環境

（2020年10月13日～2021年10月11日）

アジア・オセアニア地域の株式市場は、期を通じて上昇しました。期前半においては新型コロナウイルスのワクチン普及による経済活動の正常化への期待や着実なマクロ経済の回復、企業業績見通しの改善などが好感され上昇基調で推移しました。

2020年11月には米国大統領選挙が終わり、米国の政治不透明感の後退に加え、危惧されてきた増税や大手IT企業への規制強化に対しては上下両院で多数派が異なる「ねじれ」状態が一定の抑止力になるとの期待、ワクチン普及の見通しなどを背景に世界の株式市場は上昇しました。さらにバイデン政権の対中政策や通商政策がこれまでに比べて融和的になるとの見方もアジア・オセアニア地域の株式市場にとって追い風となりました。2021年2月下旬以降は、米国では長期金利の上昇、中国においてはこれまでの拡張した財政政策と金融緩和政策について正常化に向けた動きが明確になったことなどから株価は上値の重い展開となりました。7月には中国当局がインターネット企業などに対する規制強化や学習塾の非営利団体化を打ち出したことで株価は調整を余儀なくされました。社会的公平性、公平な競争環境、労働条件の改善、出生率の向上など中国政府が掲げる政治目標の達成を妨げる要因に対して、当局が民間企業に一定の規制を課すことにより、企業も重大な社会的責任を負うべきである、という中国政府の意図がみられました。8月には売られすぎから買い戻す動きも見られましたが、9月には大手不動産企業の債務問題や中国政府による香港不動産業界への規制など民間企業に対する規制強化への懸念が台頭して再び下落しました。

アジア・オセアニア地域の為替市場では、米ドル高を受けてアジア・オセアニア地域の通貨の多くは対米ドルで下落しました。一方で円は日米長期金利差拡大などを受け大きく米ドル高円安に動いたことから、多くのアジア・オセアニア地域の通貨は円に対して上昇しました。

国内短期金融市場は、日銀がマイナス金利政策を継続していることを背景に、短期金利がマイナス圏で推移しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2020年10月13日～2021年10月11日）

## &lt;アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）&gt;

「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）」、「日本マネー・マザーファンド」を主要投資対象とし、「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）」を高位に組み入れて運用を行いました。

## ○イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）

イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行いました。

マザーファンドの運用につきましては、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行い、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目指した運用を行いました。当期の投資行動では、バリュエーションが魅力的な水準にあり値上がり期待できる銘柄の中から、配当利回りが相対的に高い銘柄や今後の増配が期待できる銘柄などに注目し、市場を上回る平均配当利回りの水準を維持しました。

組入比率については、国・地域別では、香港や台湾などを引き上げる一方、中国やシンガポールなどを引き下げました。セクター別では、ヘルスケアなどを引き上げる一方、一般消費財・サービスなどを引き下げました。

## ○日本マネー・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、政府保証債を組み入れました。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

（2020年10月13日～2021年10月11日）

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

**分配金**

（2020年10月13日～2021年10月11日）

毎年10月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、分配を行います。

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

当期の分配につきましては、投資信託財産の成長を目指す観点から、見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第9期
	2020年10月13日～ 2021年10月11日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,136

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### （投資環境の見通し）

アジア・オセアニア地域の株式は、短期的には中国の大手不動産企業の債務問題など足元の混乱が上値を抑える要因になると考えられます。一方、中国のテクノロジー関連企業の多くが強固な研究開発基盤を有し、欧米諸国と対等に競えるだけの革新的な技術を持ち合わせていること、その力が半導体やAI技術、自動運転、電気自動車向けバッテリー、クリーンエネルギー技術にまで拡大し、今後の中国経済の発展にとって重要なドライバーになると考えられることから、中長期的には中国市場が他の市場を上回るリターンを生み出すことが期待されます。

国内短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれることから、主要な投資対象であるわが国の公社債および短期金融商品の利回りがマイナス圏での推移となり、今後も厳しい運用環境が続くと予想されます。

### <アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）>

「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）」を高位に組み入れて運用を行います。

#### ○イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）

イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、分散投資によりリスクの低減を図りながら、先進国と比較して相対的に高い経済成長が期待される日本を除くアジア・オセアニア地域の株式へ投資を行います。今後も、個別銘柄のキャッシュフローと配当の持続可能性に注目したリサーチに基づき、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行う予定です。なお、当マザーファンドでは将来のキャッシュフローに基づく企業の本源的価値に対して、足元の株価が割安な水準にあると判断した低配当利回り銘柄を組み入れることがあります。

アジア・オセアニア地域の株式は米国や欧州などの主要株式市場との比較だけでなく、過去との比較においても割安な水準にあると思われます。株式市場がマクロ経済などのニュースに敏感に反応するような局面では、株価の短期的な変動にも耐えうる投資期間を設定し、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）とバリュエーションを十分に見極めるという投資の基本に立ち返ることが重要と考えます。企業のファンダメンタルズと関係なく株価が変動する局面では、財務体質の強い銘柄への投資機会をうかがってまいります。

#### ○日本マネー・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）

◎1万口当たりの費用明細

（2020年10月13日～2021年10月11日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	165 ( 63) ( 94) ( 8)	1.152 (0.439) (0.658) (0.055)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (監査費用) (その他)	2 ( 2) ( 0)	0.011 (0.011) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合計	167	1.163	

期中の平均基準価額は、14,299円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

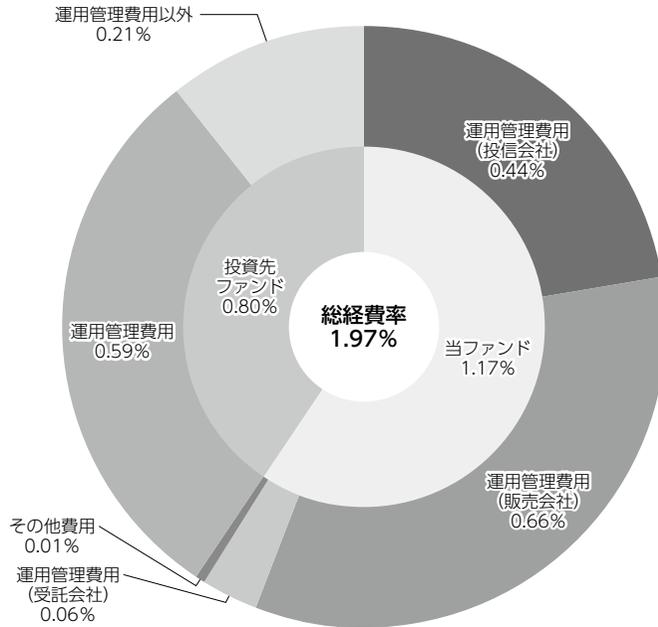
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.97%です。



(単位：%)

総経費率 (①+②+③)	1.97
①当ファンドの費用の比率	1.17
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.59
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.21

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

アジア・オセアニア好配当成長株オープン（1年決算型）

◎売買及び取引の状況

◎売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

○投資信託証券

決算期	第9期（2020年10月13日～2021年10月11日）			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
国内		千円		千円
イーストスプリング・アジア・オセアニア 好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）	259,661,143	150,000	1,357,237,376	760,000

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

◎利害関係人との取引状況等（2020年10月13日～2021年10月11日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産の明細

○ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	期首（前期末）	当期末（2021年10月11日現在）		
	□数	□数	評価額	比率
イーストスプリング・アジア・オセアニア 好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）	5,365,699,046	4,268,122,813	2,267,226	97.5
合計	5,365,699,046	4,268,122,813	2,267,226	

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) □数・評価額の単位未満は切捨て。

○親投資信託残高

銘柄	期首（前期末）	当期末（2021年10月11日現在）	
	□数	□数	評価額
日本マネー・マザーファンド	4,512	4,512	4,587

(注) □数・評価額の単位未満は切捨て。

◎投資信託財産の構成

項目	当期末（2021年10月11日現在）	
	評価額	比率
投資信託受益証券	2,267,226	96.8
日本マネー・マザーファンド	4,587	0.2
コール・ローン等、その他	69,570	3.0
投資信託財産総額	2,341,383	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年10月11日現在)

項目	当期末
	金額 (円)
<b>(A) 資産</b>	<b>2,341,383,896</b>
コール・ローン等	69,569,892
投資信託受益証券(評価額)	2,267,226,838
日本マネー・マザーファンド(評価額)	4,587,166
<b>(B) 負債</b>	<b>16,978,499</b>
未払解約金	2,309,753
未払信託報酬	14,529,634
未払利息	64
その他未払費用	139,048
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>2,324,405,397</b>
元本	1,697,809,459
次期繰越損益金	626,595,938
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,697,809,459口</b>
<b>1万口当たり基準価額(C / D)</b>	<b>13,691円</b>

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,3691円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は2,136,834,163円、期中追加設定元本額は632,786,825円、期中一部解約元本額は1,071,811,529円です。

用語解説

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産-負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
<b>1 (万) 口当たり基準価額</b>	1 (万) 口当たりのファンドの時価です。

◎損益の状況

(2020年10月13日～2021年10月11日)

項目	当期 金額 (円)
(A) 配当等収益	45,731,399
受取配当金	45,737,055
受取利息	423
その他収益金	9,438
支払利息	△ 15,517
(B) 有価証券売買損益	136,334,090
売買益	313,797,988
売買損	△ 177,463,898
(C) 信託報酬等	△ 30,538,205
(D) 当期損益金(A + B + C)	151,527,284
(E) 前期繰越損益金	△ 671,527
(F) 追加信託差損益金	475,740,181
(配当等相当額)	( 703,701,211)
(売買損益相当額)	(△227,961,030)
(G) 計(D + E + F)	626,595,938
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	626,595,938
追加信託差損益金	475,740,181
(配当等相当額)	( 703,701,625)
(売買損益相当額)	(△227,961,444)
分配準備積立金	168,424,426
繰越損益金	△ 17,568,669

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注) 収益分配金

決算期	第9期
(a) 配当等収益(費用控除後)	38,085,423円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	703,701,625円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	130,339,003円
分配対象収益(a + b + c + d)	872,126,051円
分配対象収益(1万口当たり)	5,136円
分配金額	0円
分配金額(1万口当たり)	0円

用語解説

◎損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

<お知らせ>

該当事項はございません。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限（2005年10月28日設定）	
運用方針	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行い、安定した配当収入の確保および中長期的な値上り益の獲得を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド	日本を除くアジア・オセアニア地域の株式を主要投資対象とします。
組入制限	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</li> <li>・株式への実質投資割合には制限を設けません。</li> <li>・同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li> </ul>
	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li> <li>・株式への投資割合には制限を設けません。</li> <li>・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li> </ul>
分配方針	毎決算時（毎月6日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配の対象とし、分配金額は基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。	

## 運用報告書（全体版）

# イーストスプリング・ アジア・オセアニア 好配当株式ファンド （適格機関投資家専用）

## 第32作成期

第186期（決算日	2021年5月6日）
第187期（決算日	2021年6月7日）
第188期（決算日	2021年7月6日）
第189期（決算日	2021年8月6日）
第190期（決算日	2021年9月6日）
第191期（決算日	2021年10月6日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド（適格機関投資家専用）」は、上記の決算を行いましたので、ここに当作成期中の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

最近5作成期の運用実績

決算期		基準価額 (分配落)	税込	期中	株式 組入比率	投資信託証券 組入比率	純資産 総額
			分配金	騰落率			
		円	円	%	%	%	百万円
第28 作成期	162期(2019年5月7日)	5,057	10	△ 3.0	95.0	2.5	265,470
	163期(2019年6月6日)	4,695	31	△ 6.5	95.1	2.2	241,415
	164期(2019年7月8日)	4,933	40	5.9	95.3	1.9	249,669
	165期(2019年8月6日)	4,450	20	△ 9.4	95.7	2.2	220,411
	166期(2019年9月6日)	4,564	17	2.9	95.0	2.1	222,170
	167期(2019年10月7日)	4,520	12	△ 0.7	93.6	2.3	215,081
第29 作成期	168期(2019年11月6日)	4,933	3	9.2	95.3	2.3	229,524
	169期(2019年12月6日)	4,746	8	△ 3.6	94.4	2.6	214,828
	170期(2020年1月6日)	5,060	4	6.7	94.7	2.5	224,085
	171期(2020年2月6日)	4,936	2	△ 2.4	95.2	2.4	211,324
	172期(2020年3月6日)	4,630	14	△ 5.9	95.4	2.1	195,178
	173期(2020年4月6日)	3,899	5	△15.7	92.9	2.1	161,409
第30 作成期	174期(2020年5月7日)	4,091	2	5.0	94.4	2.6	166,334
	175期(2020年6月8日)	4,522	26	11.2	92.3	3.7	181,659
	176期(2020年7月6日)	4,466	30	△ 0.6	91.6	4.3	177,418
	177期(2020年8月6日)	4,573	10	2.6	93.2	3.8	178,606
	178期(2020年9月7日)	4,593	11	0.7	93.2	3.6	176,396
	179期(2020年10月6日)	4,613	6	0.6	93.6	3.6	174,032
第31 作成期	180期(2020年11月6日)	4,830	2	4.7	93.4	4.0	178,037
	181期(2020年12月7日)	5,267	9	9.2	92.2	4.2	188,919
	182期(2021年1月6日)	5,405	2	2.7	92.2	3.9	188,723
	183期(2021年2月8日)	5,926	11	9.8	94.3	3.6	198,310
	184期(2021年3月8日)	5,995	10	1.3	93.5	3.8	195,080
	185期(2021年4月6日)	6,100	5	1.8	93.0	3.8	195,440
第32 作成期	186期(2021年5月6日)	5,953	1	△ 2.4	92.8	3.7	185,192
	187期(2021年6月7日)	6,054	20	2.0	93.5	3.5	185,284
	188期(2021年7月6日)	5,888	12	△ 2.5	92.4	3.7	177,233
	189期(2021年8月6日)	5,500	13	△ 6.4	93.3	3.7	162,959
	190期(2021年9月6日)	5,507	21	0.5	93.7	3.3	160,103
	191期(2021年10月6日)	5,195	11	△ 5.5	92.7	3.4	148,634

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率、投資信託証券組入比率は実質比率を記載しております。

(注5) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		株 式 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
第186期	(期 首) 2021年4月6日	円 6,100	% —	% 93.0	% 3.8	
	4月末	6,092	△0.1	93.4	3.6	
	(期 末) 2021年5月6日	5,954	△2.4	92.8	3.7	
第187期	(期 首) 2021年5月6日	5,953	—	92.8	3.7	
	5月末	6,004	0.9	93.2	3.6	
	(期 末) 2021年6月7日	6,074	2.0	93.5	3.5	
第188期	(期 首) 2021年6月7日	6,054	—	93.5	3.5	
	6月末	5,995	△1.0	93.1	3.7	
	(期 末) 2021年7月6日	5,900	△2.5	92.4	3.7	
第189期	(期 首) 2021年7月6日	5,888	—	92.4	3.7	
	7月末	5,486	△6.8	91.9	3.7	
	(期 末) 2021年8月6日	5,513	△6.4	93.3	3.7	
第190期	(期 首) 2021年8月6日	5,500	—	93.3	3.7	
	8月末	5,397	△1.9	91.9	3.3	
	(期 末) 2021年9月6日	5,528	0.5	93.7	3.3	
第191期	(期 首) 2021年9月6日	5,507	—	93.7	3.3	
	9月末	5,280	△4.1	92.6	3.4	
	(期 末) 2021年10月6日	5,206	△5.5	92.7	3.4	

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率、投資信託証券組入比率は実質比率を記載しております。

## 運用経過

### 基準価額等の推移について

（2021年4月7日～2021年10月6日）



第186期首	6,100円
第191期末	5,195円（既払分配金78円）
騰落率	-13.7%（分配金再投資ベース）

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

### 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は下落しました。

下落要因

・保有する銘柄の株価が下落したこと。

## 投資環境について

### アジア・オセアニア地域の株式市場

アジア・オセアニア地域の株式市場は、中国の政策リスク懸念から通期では下落しました。

作成期初から2021年6月までは、2021年1－3月期の企業決算が好調であったことや米長期金利上昇が一服したことなどもあり、小幅な上昇となりました。しかし7月には中国当局がインターネット企業などに対する規制強化や学習塾の非営利団体化を打ち出したことで株価は調整を余儀なくされました。社会的公平性、公平な競争環境、労働条件の改善、出生率の向上など中国政府が掲げる政治目標の達成を妨げる要因に対して、当局が民間企業に一定の規制を課すことにより、企業も重大な社会的責任を負うべきである、という中国政府の意図がみられました。8月には買い戻す動きも見られましたが、9月には不

動産大手の債務問題や中国政府による香港不動産業界への規制など民間企業に対する規制強化への懸念が台頭して再び下落しました。

### 為替市場

アジア・オセアニア地域の通貨の中で、新型コロナウイルス感染拡大がみられた韓国や洪水による被害が嫌気されたタイ、中国経済の減速懸念を受けたオーストラリアなどの通貨は対米ドルで下落しました。一方で新台幣ドルなどは対米ドルで上昇しました。

円は日米長期金利差拡大などを受け米ドルに対して下落しました。その結果、対米ドルの下落幅が相対的に大きい韓国ウォンやタイバーツ、オーストラリアドルは円に対して下落し、新台幣ドルならびに米ドルに連動している香港ドルは円に対して上昇しました。

## ポートフォリオについて

### 当ファンド

イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行いました。

### イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド

主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行い、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目

指した運用を行いました。当作成期の投資行動では、バリュエーションが魅力的な水準にあり値上がりが期待できる銘柄の中から、配当利回りが相対的に高い銘柄や今後の増配が期待できる銘柄などに注目し、市場を上回る平均配当利回りの水準を維持しました。

組入比率については、国・地域別では、台湾などを引き上げる一方、中国などを引き下げました。セクター別では、ヘルスケアなどを引き上げる一方、一般消費財・サービスなどを引き下げました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期	第191期
	2021年4月7日 ～2021年5月6日	2021年5月7日 ～2021年6月7日	2021年6月8日 ～2021年7月6日	2021年7月7日 ～2021年8月6日	2021年8月7日 ～2021年9月6日	2021年9月7日 ～2021年10月6日
当期分配金 (円)	1	20	12	13	21	11
(対基準価額比率) (%)	0.017	0.329	0.203	0.236	0.380	0.211
当期の収益 (円)	0	20	12	13	21	9
当期の収益以外 (円)	0	—	—	—	—	1
翌期繰越分配対象額 (円)	1,353	1,353	1,353	1,353	1,354	1,352

(注1) 「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### 当ファンド

イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドの受益証券を高位に組み入れることにより、信託財産の成長を図ることを目指します。

### イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド

分散投資によりリスクの低減を図りながら、先進国と比較して相対的に高い経済成長が期待される日本を除くアジア・オセアニア地域の株式へ投資を行います。今後とも、個別銘柄のキャッシュフローと配当の持続可能性に注目したりサーチに基づき、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行う予定です。なお、

当マザーファンドでは将来のキャッシュフローに基づく企業の本源的価値に対して、足元の株価が割安な水準にあると判断した低配当利回り銘柄を組み入れることがあります。

アジア・オセアニア地域の株式は米国や欧州などの主要株式市場との比較だけでなく、過去との比較においても割安な水準にあると思われます。株式市場がマクロ経済などのニュースに敏感に反応するような局面では、株価の短期的な変動にも耐えうる投資期間を設定し、ファンダメンタルズとバリュエーションを十分に見極めるという投資の基本に立ち返ることが重要と考えます。企業のファンダメンタルズと関係なく株価が変動する局面では、財務体質の強い銘柄への投資機会をうかがってまいります。

1万口当たりの費用明細

(2021年4月7日～2021年10月6日)

項目	第186期～第191期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	17円	0.303%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、5,709円です。
（投信会社）	(16)	(0.276)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(0)	(0.006)	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.114	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均 受益権口数
（株式）	(6)	(0.110)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
（投資信託証券）	(0)	(0.003)	
(c) 有価証券取引税	4	0.071	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均 受益権口数
（株式）	(4)	(0.069)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する 税金
（投資信託証券）	(0)	(0.002)	
(d) その他費用	10	0.175	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.033)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他1）	(8)	(0.141)	キャピタルゲイン税、インドおよび台湾の税務代理人に対する手 数料等
（その他2）	(0)	(0.000)	権利に係る税金
（その他）	(0)	(0.000)	株式転換に係る費用
合計	37	0.663	

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

## 売買及び取引の状況

（2021年4月7日から2021年10月6日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第 186 期 ～ 第 191 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 7,669,940	千円 22,230,659

（注）単位未満は切捨てです。

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合（2021年4月7日から2021年10月6日まで）

項 目	第186期～第191期
	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド
(a) 作成期中の株式売買金額	128,002,178千円
(b) 作成期中の平均組入株式時価総額	163,137,031千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.78

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

（注2）単位未満は切捨てです。

## 利害関係人との取引状況等

（2021年4月7日から2021年10月6日まで）

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細

（2021年10月6日現在）

親投資信託残高

種 類	前作成期末 (第185期末)	当作成期末（第191期末）	
	口 数	口 数	評 価 額
イーストスプリング・アジア・オセアニア 好配当株式マザーファンド	千口 63,731,434	千口 56,061,493	千円 148,271,439

（注1）単位未満は切捨てです。

（注2）マザーファンドの2021年10月6日現在の受益権総口数は、57,297,323千口です。

投資信託財産の構成

（2021年10月6日現在）

項 目	当作成期末（第191期末）	
	評 価 額	比 率
イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド	148,271,439	99.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	756,381	0.5
投 資 信 託 財 産 総 額	149,027,820	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨てです。

（注2）イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（150,105,848千円）の投資信託財産総額（152,482,266千円）に対する比率は98.4%です。

（注3）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2021年10月6日における邦貨換算レートは、1米ドル=111.63円、1オーストラリアドル=81.34円、1香港ドル=14.34円、1シンガポールドル=82.24円、1タイバーツ=3.30円、1フィリピンペソ=2.2035円、100インドネシアルピア=0.79円、100韓国ウォン=9.41円、1新台幣ドル=4.002円、1インドルピー=1.51円、1中国人民元（オフショア）=17.3278円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2021年5月6日）（2021年6月7日）（2021年7月6日）（2021年8月6日）（2021年9月6日）（2021年10月6日）現在

項 目	第186期末	第187期末	第188期末	第189期末	第190期末	第191期末
(A) 資 産	189,318,527,037円	185,994,646,887円	177,682,916,848円	163,432,219,504円	160,796,813,489円	149,027,820,742円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	904,516,232	924,946,241	907,582,818	803,319,646	784,585,547	756,381,657
イーストスプリング・アジア・オセアニア 好配当株式マザーファンド(評価額)	184,378,273,308	185,069,700,646	176,775,334,030	162,628,899,858	160,012,227,942	148,271,439,085
未 収 入 金	4,035,737,497	—	—	—	—	—
(B) 負 債	4,126,406,063	710,140,555	449,882,136	473,167,281	693,662,812	392,833,645
未 払 収 益 分 配 金	31,109,960	612,106,562	361,194,961	385,185,744	610,549,973	314,712,744
未 払 解 約 金	3,999,999,999	—	—	—	—	—
未 払 信 託 報 酬	95,091,542	97,613,898	88,071,903	87,157,923	82,080,543	76,886,684
未 払 利 息	2,602	2,711	2,660	2,310	2,300	2,217
そ の 他 未 払 費 用	201,960	417,384	612,612	821,304	1,029,996	1,232,000
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	185,192,120,974	185,284,506,332	177,233,034,712	162,959,052,223	160,103,150,677	148,634,987,097
元 本	311,099,608,199	306,053,281,264	300,995,800,977	296,296,726,167	290,738,082,476	286,102,495,144
次 期 繰 越 損 益 金	△125,907,487,225	△120,768,774,932	△123,762,766,265	△133,337,673,944	△130,634,931,799	△137,467,508,047
(D) 受 益 権 総 口 数	311,099,608,199口	306,053,281,264口	300,995,800,977口	296,296,726,167口	290,738,082,476口	286,102,495,144口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C/D)	5,953円	6,054円	5,888円	5,500円	5,507円	5,195円

（注1）元本の状況

当ファンドの第186期首元本額は320,413,627,887円、第186～191期中追加設定元本額は92,097,993円、第186～191期中一部解約元本額は34,403,230,736円です。

（注2）1口当たり純資産額は、第186期0.5953円、第187期0.6054円、第188期0.5888円、第189期0.5500円、第190期0.5507円、第191期0.5195円です。

（注3）上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

## 損益の状況

第186期（自2021年4月7日至2021年5月6日）、第187期（自2021年5月7日至2021年6月7日）  
 第188期（自2021年6月8日至2021年7月6日）、第189期（自2021年7月7日至2021年8月6日）  
 第190期（自2021年8月7日至2021年9月6日）、第191期（自2021年9月7日至2021年10月6日）

項 目	第 186 期	第 187 期	第 188 期	第 189 期	第 190 期	第 191 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 80,918円	△ 75,544円	△ 77,188円	△ 77,416円	△ 71,360円	△ 71,376円
支 払 利 息	△ 80,918	△ 75,544	△ 77,188	△ 77,416	△ 71,360	△ 71,376
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 4,440,694,697	3,806,529,460	△ 4,540,248,037	△ 11,034,277,662	894,312,620	△ 8,523,027,148
売 買 損 益	59,041,044	3,852,397,773	10,861,100	215,512,564	948,260,626	102,688,509
売 買 損	△ 4,499,735,741	△ 45,868,313	△ 4,551,109,137	△ 11,249,790,226	△ 53,948,006	△ 8,625,715,657
(C) 信 託 報 酬 等	△ 95,293,502	△ 97,829,322	△ 88,267,131	△ 87,366,615	△ 82,289,235	△ 77,088,688
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C)	△ 4,536,069,117	3,708,624,594	△ 4,628,592,356	△ 11,121,721,693	811,952,025	△ 8,600,187,212
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	42,105,305,331	36,930,001,171	39,365,050,488	33,838,647,821	21,912,809,439	21,754,699,870
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△163,445,613,479	△160,795,294,135	△158,138,029,436	△155,669,414,328	△152,749,143,290	△150,307,307,961
(配 当 等 相 当 額)	( 747,949)	( -)	( -)	( -)	( -)	( 12,268,254)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△163,446,361,428)	(△160,795,294,135)	(△158,138,029,436)	(△155,669,414,328)	(△152,749,143,290)	(△150,319,576,215)
(G) 計 (D+E+F)	△125,876,377,265	△120,156,668,370	△123,401,571,304	△132,952,488,200	△130,024,381,826	△137,152,795,303
(H) 収 益 分 配 金	△ 31,109,960	△ 612,106,562	△ 361,194,961	△ 385,185,744	△ 610,549,973	△ 314,712,744
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△125,907,487,225	△120,768,774,932	△123,762,766,265	△133,337,673,944	△130,634,931,799	△137,467,508,047
追 加 信 託 差 損 益 金	△163,446,361,428	△160,795,294,135	△158,138,029,436	△155,669,414,328	△152,749,143,290	△150,319,629,841
(売 買 損 益 相 当 額)	(△163,446,361,428)	(△160,795,294,135)	(△158,138,029,436)	(△155,669,414,328)	(△152,749,143,290)	(△150,319,629,841)
分 配 準 備 積 立 金	42,098,502,129	41,416,042,103	40,734,020,343	40,101,144,713	39,366,766,823	38,706,417,501
繰 越 損 益 金	△ 4,559,627,926	△ 1,389,522,900	△ 6,358,757,172	△ 17,769,404,329	△ 17,252,555,332	△ 25,854,295,707

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の40以内の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注5) 分配金の計算過程

第186期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(23,558,809円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(747,949円)および分配準備積立金(42,105,305,331円)より、分配対象収益は42,129,612,089円(10,000口当たり1,354円)であり、うち31,109,960円(10,000口当たり1円)を分配金額としております。

第187期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(612,475,821円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、および分配準備積立金(41,415,672,844円)より、分配対象収益は42,028,148,665円(10,000口当たり1,373円)であり、うち612,106,562円(10,000口当たり20円)を分配金額としております。

第188期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(363,604,840円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、および分配準備積立金(40,731,610,464円)より、分配対象収益は41,095,215,304円(10,000口当たり1,365円)であり、うち361,194,961円(10,000口当たり12円)を分配金額としております。

第189期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(388,188,899円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、および分配準備積立金(40,098,141,558円)より、分配対象収益は40,486,330,457円(10,000口当たり1,366円)であり、うち385,185,744円(10,000口当たり13円)を分配金額としております。

第190期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(628,447,102円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、および分配準備積立金(39,348,869,694円)より、分配対象収益は39,977,316,796円(10,000口当たり1,375円)であり、うち610,549,973円(10,000口当たり21円)を分配金額としております。

第191期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(282,028,645円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(12,321,880円)および分配準備積立金(38,726,779,720円)より、分配対象収益は39,021,130,245円(10,000口当たり1,363円)であり、うち314,712,744円(10,000口当たり11円)を分配金額としております。

## 分配金のお知らせ

決算期	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期	第191期
1万口当たり分配金（税引前）	1円	20円	12円	13円	21円	11円

- ◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ◇税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合もあります。

## お知らせ

該当事項はありません。

# イーストスプリング・ アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド 運用報告書

第16期（決算日：2021年10月6日）  
（計算期間：2020年10月7日～2021年10月6日）

「イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド」の第16期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行い、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上り益の獲得を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を除くアジア・オセアニア地域の株式を主要投資対象とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"><li>・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li><li>・株式への投資割合には制限を設けません。</li><li>・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</li></ul>

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株式組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
		期中騰落率			
	円	%	%	%	百万円
12期(2017年10月6日)	24,016	27.0	96.0	1.8	423,910
13期(2018年10月9日)	22,640	△ 5.7	95.9	1.5	311,667
14期(2019年10月7日)	21,671	△ 4.3	93.8	2.4	218,802
15期(2020年10月6日)	22,855	5.5	93.8	3.6	177,263
16期(2021年10月6日)	26,448	15.7	92.9	3.5	151,538

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率	投資信託証券組入比率
		騰落率		
(期首) 2020年10月6日	円 22,855	% —	% 93.8	% 3.6
10月末	23,301	2.0	92.2	3.9
11月末	25,813	12.9	90.9	4.2
12月末	26,099	14.2	91.9	4.1
2021年1月末	28,411	24.3	92.4	3.7
2月末	30,377	32.9	93.4	3.7
3月末	30,296	32.6	92.9	3.9
4月末	30,530	33.6	93.8	3.6
5月末	30,110	31.7	93.6	3.6
6月末	30,176	32.0	93.6	3.7
7月末	27,675	21.1	92.4	3.7
8月末	27,303	19.5	92.3	3.3
9月末	26,823	17.4	93.0	3.4
(期末) 2021年10月6日	26,448	15.7	92.9	3.5

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

## 運用経過

### 基準価額の推移について

(2020年10月7日～2021年10月6日)



第16期首	22,855円
第16期末	26,448円
騰落率	15.7%

### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

#### 上昇要因

- ・新型コロナウイルスワクチン接種の進展による経済活動正常化への期待のなか、金融などのシクリカルセクターや引き続き安定した需要が見込まれる情報技術セクターの保有銘柄の株価が上昇したこと。
- ・国・地域別では韓国やオーストラリアなどが上昇したこと。

## 投資環境について

### アジア・オセアニア地域の株式市場

アジア・オセアニア地域の株式市場は、当期前半においては新型コロナウイルスワクチン普及による経済活動正常化への期待や着実なマクロ経済の回復、企業業績見通しの改善などが好感され上昇基調で推移しました。2021年2月以降は、米長期金利上昇や中国の政策リスク懸念などから株価は調整しましたが、通期では上昇となりました。

2020年11月に行われた米国大統領選挙の結果を受けて、米国の政治不透明感の後退に加え、危惧されてきた増税や大手IT企業への規制強化に対しては上下両院で多数派が異なる「ねじれ」状態が一定の抑止力になるとの期待、ワクチン普及の見直しなどを背景に世界の株式市場は上昇しました。さらにバイデン政権の対中政策や通商政策がこれまでに比べて融和的になるとの見方もアジア・オセアニア地域の株式市場にとって追い風となりました。2021年2月下旬以降は、米国では長期金利の上昇、中国においてはこれまでの拡張した財政政策と金融緩和政策について正常化に向けた動きが明確になった

ことなどから株価は上値の重い展開となりました。7月には中国当局がインターネット企業などに対する規制強化や学習塾の非営利団体化を打ち出したことで株価は調整を余儀なくされました。社会的公平性、公平な競争環境、労働条件の改善、出生率の向上など中国政府が掲げる政治目標の達成を妨げる要因に対して、当局が民間企業に一定の規制を課すことで、企業も重大な社会的責任を負うべきである、という中国政府の意図がみられました。8月には買い戻す動きも見られましたが、9月には不動産大手の債務問題や中国政府による香港不動産業界への規制など民間企業に対する規制強化への懸念が台頭して再び下落しました。

### 為替市場

米ドル高を受けてアジア・オセアニア地域の多くの通貨は対米ドルで下落しました。一方、円は日米長期金利差拡大などを受け大きく円安米ドル高に動いたことから、多くのアジア・オセアニア地域の通貨は円に対して上昇しました。

## ポートフォリオについて

主として日本を除くアジア・オセアニア地域の株式に投資を行い、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目指した運用を行いました。当期の投資行動では、バリュエーションが魅力的な水準にあり値上がりが期待できる銘柄の中から、配当利回りが相対的に高い銘柄や今後の増配が期待できる銘柄などに注目し、市場を上回る平均配当利回りの水準を維持しました。

組入比率については、国・地域別では、香港や台湾などを引き上げる一方、中国やシンガポールなどを引き下げました。セクター別では、ヘルスケアなどを引き上げる一方、一般消費財・サービスなどを引き下げました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 今後の運用方針について

分散投資によりリスクの低減を図りながら、先進国と比較して相対的に高い経済成長が期待される日本を除くアジア・オセアニア地域の株式へ投資を行います。今後とも、個別銘柄のキャッシュフローと配当の持続可能性に注目したりサーチに基づき、安定的な配当収入の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行う予定です。なお、当マザーファンドでは将来のキャッシュフローに基づく企業の本源的価値に対して、足元の株価が割安な水準にあると判断した低配当利回り銘柄を組み入れることがあります。

アジア・オセアニア地域の株式は米国や欧州などの主要株式市場との比較だけでなく、過去との比較においても割安な水準にあると思われる。株式市場がマクロ経済などのニュースに敏感に反応するような局面では、株価の短期的な変動にも耐えうる投資期間を設定し、ファンダメンタルズとバリュエーションを十分に見極めるという投資の基本に立ち返ることが重要と考えます。企業ファンダメンタルズと関係なく株価が変動する局面では、財務体質の強い銘柄への投資機会をうかがってまいります。

## 1 万口当たりの費用明細

(2020年10月7日～2021年10月6日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料	58円	0.206%	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 期中の平均基準価額は、28,076円です。
(株式)	(56)	(0.200)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	( 2)	(0.006)	
(b) 有価証券取引税	41	0.144	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式)	(40)	(0.141)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	( 1)	(0.003)	
(c) その他費用	59	0.210	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(16)	(0.059)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他1)	(42)	(0.151)	キャピタルゲイン税、インドおよび台湾の税務代理人に対する手数料等
(その他2)	( 0)	(0.000)	権利に係る税金
(その他)	( 0)	(0.000)	株式転換に係る費用
合計	158	0.560	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

売買及び取引の状況

(2020年10月7日から2021年10月6日まで)

(1) 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ア メ リ カ	百株 29,658 ( 8,617)	千米ドル 71,646 ( -)	百株 25,015 ( 579)	千米ドル 63,282 ( 16,709)
	オーストラリア	202,169 ( 234)	千オーストラリアドル 172,041 ( 540)	325,617	千オーストラリアドル 313,555
	香 港	2,540,029 ( 28,571)	千香港ドル 3,616,025 ( 129,737)	2,800,573 ( -)	千香港ドル 4,903,523 ( 7,778)
	シンガポール	91,959 ( 206)	千シンガポールドル 21,894 ( 530)	267,962	千シンガポールドル 95,750
	タ イ	140,057	千タイバーツ 548,602	12,884	千タイバーツ 50,676
	フ ィ リ ピ ン	627,980	千フィリピンペソ 856,250	359,682	千フィリピンペソ 626,473
	インドネシア	1,302,004	千インドネシアルピア 218,201,085	1,288,939	千インドネシアルピア 170,943,254
	韓 国	16,939	千韓国ウォン 86,784,456	23,860	千韓国ウォン 227,792,503
	台 湾	175,830 ( 569)	千新台幣ドル 2,433,901 ( -)	141,476 ( -)	千新台幣ドル 3,253,407 ( 33,558)
	イ ン ド	53,152 ( 721)	千インドルピー 2,604,390 ( 118,727)	32,242 ( 721)	千インドルピー 5,426,658 ( 96,059)
中 国	213,092	千中国人民元(オフショア) 806,588	200,111	千中国人民元(オフショア) 676,144	

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) ( ) 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 投資信託証券

		買 付		売 付		
		口 数	金 額	口 数	金 額	
外 国	オーストラリア	GPT GROUP	千口 -	千オーストラリアドル -	千口 7,533	千オーストラリアドル 35,310
		UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIELD-CDI	-	-	3,536	19,320
国	香 港	LINK REIT	千口 260	千香港ドル 18,701	千口 1,334	千香港ドル 95,672
		HKT TRUST AND HKT LTD STPL	20,778	216,107	4,921	52,554

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合(2020年10月7日から2021年10月6日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	278,153,858千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	170,884,890千円
(c) 売 買 高 比 率(a)/(b)	1.62

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

(2020年10月7日から2021年10月6日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2021年10月6日現在)

(1) 外国株式

上場、登録株式

組入有価証券明細表

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	644	—	—	—	小売
NEW ORIENTAL EDUCATIO-SP ADR	2,502	—	—	—	消費者サービス
LUFAX HOLDING LTD ADR	—	15,827	11,285	1,259,774	各種金融
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	3,146 2	15,827 1	11,285 —	1,259,774 <0.8%>
(オーストラリア)			千オーストラリアドル		
WESTPAC BANKING CORPORATION	19,650	—	—	—	銀行
TELSTRA CORP LTD	47,279	—	—	—	電気通信サービス
BHP GROUP LIMITED	15,268	7,982	29,153	2,371,314	素材
CSL LTD	1,109	1,233	35,374	2,877,338	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INSURANCE AUSTRALIA GROUP LTD	—	52,390	26,299	2,139,227	保険
BLUESCOPE STEEL LTD	17,826	6,708	13,235	1,076,573	素材
WORLEY LTD	35,609	41,856	41,772	3,397,792	エネルギー
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	18,466	12,611	35,034	2,849,719	銀行
QANTAS AIRWAYS LTD	99,006	42,019	24,119	1,961,841	運輸
QBE INSURANCE GROUP LIMITED	23,582	—	—	—	保険
MACQUARIE GROUP LTD	—	2,028	36,184	2,943,244	各種金融
COLES GROUP LTD	12,243	—	—	—	食品・生活必需品小売り
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	290,043 10	166,830 8	241,173 —	19,617,051 <12.9%>
(香港)			千香港ドル		
ASM PACIFIC TECHNOLOGY	—	19,335	172,468	2,473,193	半導体・半導体製造装置
CHINA MOBILE LTD	15,625	—	—	—	電気通信サービス
CHINA RESOURCES LAND LTD	—	22,580	72,030	1,032,913	不動産
CHINA UNICOM HONG KONG LTD	296,380	—	—	—	電気通信サービス
CHINA PETROLEUM & CHEMICAL - H	—	523,380	205,164	2,942,065	エネルギー
BOC HONG KONG HOLDINGS LTD	80,325	94,865	223,881	3,210,459	銀行
SUN HUNG KAI PROPERTIES	16,180	12,550	122,990	1,763,676	不動産

イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(香港)	百株	百株	千香港ドル	千円	
GUANGDONG INVESTMENT LTD	—	115,720	116,877	1,676,019	公益事業
VTECH HOLDINGS LTD	19,803	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CNOOC LTD	220,900	—	—	—	エネルギー
SINO BIOPHARMACEUTICAL	—	284,100	168,755	2,419,952	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	44,705	33,205	169,345	2,428,414	保険
CHINA CONSTRUCTION BANK CORPORATION	239,570	408,490	226,303	3,245,191	銀行
CHINA MERCHANTS BANK CO LTD-H	68,195	—	—	—	銀行
ZHUZHOU CRRC TIMES ELECTRIC	61,351	—	—	—	資本財
HAIER ELECTRONICS GROUP CO	51,530	—	—	—	耐久消費財・アパレル
CHINA PACIFIC INSURANCE GR-H	89,598	—	—	—	保険
GUANGZHOU AUTOMOBILE GROUP-H	137,360	—	—	—	自動車・自動車部品
WYNN MACAU LTD	56,788	—	—	—	消費者サービス
AIA GROUP LTD	—	21,676	194,975	2,795,950	保険
SUNAC CHINA HOLDINGS LTD	—	83,920	126,047	1,807,526	不動産
SANDS CHINA LTD	54,252	53,488	82,799	1,187,343	消費者サービス
CIFI HOLDINGS GROUP CO LTD	239,980	—	—	—	不動産
COUNTRY GARDEN SERVICES HOLD	—	24,920	148,523	2,129,822	不動産
CHINA FEIHE LTD	85,970	136,630	177,892	2,550,975	食品・飲料・タバコ
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	38,553	27,068	366,231	5,251,762	小売
JD.COM INC - CL A	10,034	8,286	228,375	3,274,910	小売
WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC	—	19,965	235,187	3,372,591	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
WH GROUP LTD	278,820	—	—	—	食品・飲料・タバコ
NETEASE INC	12,121	—	—	—	メディア・娯楽
TENCENT HOLDINGS LTD	17,738	13,626	613,170	8,792,827	メディア・娯楽
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	2,135,778 22	1,903,804 18	3,651,019 —	52,355,626 <34.5%>
(シンガポール)			千シンガポールドル		
DBS GROUP HOLDINGS LTD	19,646	3,123	9,442	776,585	銀行
COMFORTDELGRO CORP LTD	144,183	—	—	—	運輸
SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS	105,916	90,826	22,070	1,815,095	電気通信サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	269,745 3	93,949 2	31,513 —	2,591,681 <1.7%>
(タイ)			千タイバーツ		
PTT PCL-FOREIGN	—	127,173	502,333	1,657,700	エネルギー
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	— —	127,173 1	502,333 —	1,657,700 <1.1%>
(フィリピン)			千フィリピンペソ		
MONDE NISSIN CORP	—	268,298	504,400	1,111,445	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	— —	268,298 1	504,400 —	1,111,445 <0.7%>
(インドネシア)			千インドネシアルピア		
BANK NEGARA INDONESIA PERSERO	—	193,149	110,094,930	869,749	銀行
TELKOM INDONESIA PERSERO TBK PT	831,203	651,119	238,960,673	1,887,789	電気通信サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄数 < 比率 >	831,203 1	844,268 2	349,055,603 —	2,757,539 <1.8%>
(韓国)			千韓国ウォン		
SK HYNIX INC	2,916	3,053	29,890,534	2,812,699	半導体・半導体製造装置
KUMHO PETROCHEMICAL CO LTD	2,985	498	8,955,614	842,723	素材

イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式マザーファンド

銘柄	株数	当 期 末			業 種 等
		株数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(韓国)	百株	百株	千韓国ウォン	千円	
POSCO	1,220	—	—	—	素材
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	13,923	11,284	81,477,411	7,667,024	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD-PREF	9,192	1,170	7,747,187	729,010	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
HANON SYSTEMS	—	10,166	15,401,520	1,449,283	自動車・自動車部品
SK INNOVATION CO LTD	—	817	21,661,100	2,038,309	エネルギー
LG INNOTEK CO LTD	1,663	955	18,736,620	1,763,115	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
KB FINANCIAL GROUP INC	9,143	6,010	32,936,663	3,099,340	銀行
KRAFTON INC	—	165	7,673,299	722,057	メディア・娯楽
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	41,044 7	34,122 9	224,479,949 —	21,123,563 <13.9%>
(台湾)			千新台幣ドル		
QUANTA COMPUTER INC	—	61,840	476,786	1,908,099	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
NOVATEK MICROELECTRONICS CORP LTD	—	5,220	207,495	830,394	半導体・半導体製造装置
MEDIATEK INC	4,370	5,000	433,500	1,734,867	半導体・半導体製造装置
CHIPBOND TECHNOLOGY CORP	—	26,940	176,187	705,102	半導体・半導体製造装置
HON HAI PRECISION INDUSTRY CO LTD	47,706	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	78,943	51,623	2,952,848	11,817,300	半導体・半導体製造装置
HIWIN TECHNOLOGIES CORP	—	19,559	556,473	2,227,006	資本財
GLOBALWAFERS CO LTD	12,340	8,100	606,690	2,427,973	半導体・半導体製造装置
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	143,359 4	178,282 7	5,409,981 —	21,650,744 <14.3%>
(インド)			千インドルピー		
RELIANCE INDUSTRIES LTD	9,246	10,216	2,665,608	4,025,068	エネルギー
GAIL INDIA LTD	—	31,967	526,499	795,014	公益事業
LARSEN & TOUBRO LTD	15,071	—	—	—	資本財
TATA CONSULTANCY SVCS LTD	5,840	—	—	—	ソフトウェア・サービス
RELIANCE INDUSTRIES-PARTLY P(ISIN IN9002A01024)	721	—	—	—	エネルギー
RELIANCE INDUSTRIES-PARTLY P(ISIN IN9002A01032)	—	937	184,044	277,906	エネルギー
ICICI BANK LTD	—	8,668	604,252	912,421	銀行
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	30,879 4	51,788 4	3,980,404 —	6,010,410 <4.0%>
(中国)			千中国人民元(オフショア)		
BY-HEALTH CO LTD-A	—	34,734	98,089	1,699,667	家庭用品・パーソナル用品
YANTAI JEREH OILFIELD-A	57,636	—	—	—	エネルギー
PING AN BANK CO LTD-A	81,623	—	—	—	銀行
LB GROUP CO LTD-A	—	44,244	127,027	2,201,102	素材
SANGFOR TECHNOLOGIES INC-A	—	4,140	97,146	1,683,334	ソフトウェア・サービス
INNER MONGOLIA YILI INDUS-A	33,864	—	—	—	食品・飲料・タバコ
HAIER SMART HOME CO LTD-A	—	71,294	186,435	3,230,522	耐久消費財・アパレル
YONYOU NETWORK TECHNOLOGY-A	—	31,691	104,992	1,819,286	ソフトウェア・サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	173,124 3	186,105 5	613,690 —	10,633,912 <7.0%>
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,918,325 56	3,870,451 58	— —	140,769,450 <92.9%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注4) —印は組入れなしです。

(注5) 業種等欄の業種名は期末時点のものです。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	口数	当期			比率
		口数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	千口	千口	千オーストラリアドル	千円	%
GPT GROUP	9,943	2,409	12,000	976,132	0.6
UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIELD-CDI	3,536	—	—	—	—
小計	口数・金額	13,479	2,409	12,000	976,132
	銘柄数<比率>	2	1	—	<0.6%>
(香港)			千香港ドル		
LINK REIT	2,974	1,961	129,052	1,850,610	1.2
HKT TRUST AND HKT LTD STPL	—	15,857	168,084	2,410,327	1.6
小計	口数・金額	2,974	17,818	297,136	4,260,938
	銘柄数<比率>	1	2	—	<2.8%>
合計	口数・金額	16,453	20,228	—	5,237,070
	銘柄数<比率>	3	3	—	<3.5%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注4) —印は組入れなしです。

投資信託財産の構成

(2021年10月6日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円	%
株	140,769,450	92.3
投資証券	5,237,070	3.4
コール・ローン等、その他	6,475,746	4.3
投資信託財産総額	152,482,266	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(150,105,848千円)の投資信託財産総額(152,482,266千円)に対する比率は98.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2021年10月6日における邦貨換算レートは1米ドル=111.63円、1オーストラリアドル=81.34円、1香港ドル=14.34円、1シンガポールドル=82.24円、1タイバーツ=3.30円、1フィリピンペソ=2.2035円、100インドネシアルピア=0.79円、100韓国ウォン=9.41円、1新台幣ドル=4.002円、1インドルピー=1.51円、1中国人民元(オフショア)=17.3278円です。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年10月6日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	152,482,266,798円
コール・ローン等	5,336,830,966
株 式(評価額)	140,769,450,666
投 資 証 券(評価額)	5,237,070,642
未 収 入 金	959,453,229
未 収 配 当 金	179,461,295
(B) 負 債	943,281,751
未 払 金	942,649,627
未 払 解 約 金	627,923
未 払 利 息	4,201
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	151,538,985,047
元 本	57,297,323,087
次 期 繰 越 損 益 金	94,241,661,960
(D) 受 益 権 総 口 数	57,297,323,087口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	26,448円

(注1) 元本の状況

期首元本額	77,559,837,994円
期中追加設定元本額	3,869,355円
期中一部解約元本額	20,266,384,262円
当期末における元本の内訳	
イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式ファンド(適格機関投資家専用)	56,061,493,907円
イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式オープン(毎月分配型)	1,235,404,165円
イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式オープン	425,015円

(注2) 1口当たり純資産額は2.6448円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

## 損益の状況

当期(自2020年10月7日 至2021年10月6日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	4,206,294,672円
受 取 配 当 金	4,205,803,315
受 取 利 息	381
そ の 他 収 益 金	1,954,768
支 払 利 息	△ 1,463,792
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	26,775,725,844
売 買 益	53,061,373,357
売 買 損	△26,285,647,513
(C) 信 託 報 酬 等	△ 393,013,141
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	30,589,007,375
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	99,703,300,338
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	7,006,835
(G) 解 約 差 損 益 金	△36,057,652,588
(H) 計 (D+E+F+G)	94,241,661,960
次 期 繰 越 損 益 金(H)	94,241,661,960

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は保管費用等です。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

## お知らせ

該当事項はありません。

## 日本マネー・マザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

### 日本マネー・マザーファンド 第16期 運用状況のご報告 決算日：2021年10月11日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	株式および外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		騰	落			
12期 (2017年10月10日)	円 10,194		△0.1	% 72.4	% —	百万円 761
13期 (2018年10月10日)	10,187		△0.1	86.0	—	778
14期 (2019年10月10日)	10,180		△0.1	97.5	—	680
15期 (2020年10月12日)	10,172		△0.1	88.9	—	429
16期 (2021年10月11日)	10,166		△0.1	92.3	—	445

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っていません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

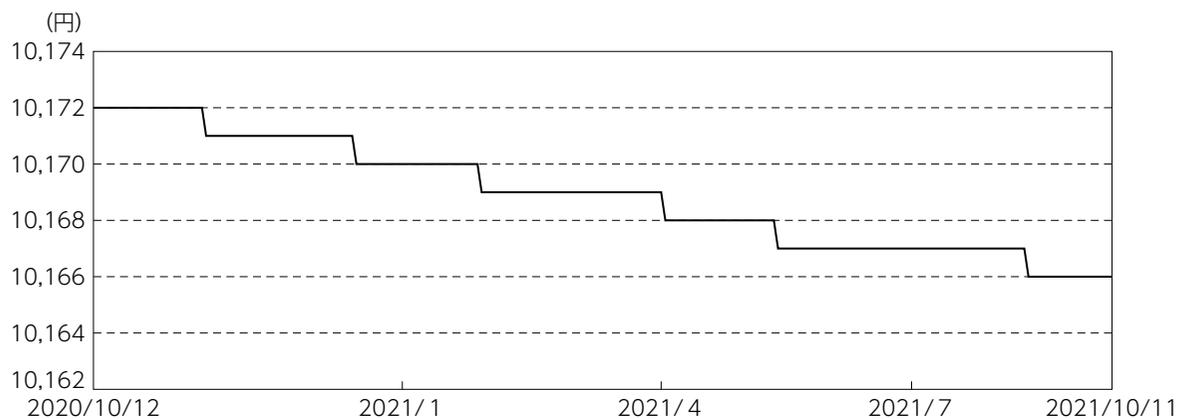
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率
		騰	落		
(期首) 2020年10月12日	円 10,172		—	% 88.9	% —
10月末	10,172		0.0	76.4	—
11月末	10,171		△0.0	76.1	—
12月末	10,171		△0.0	87.2	—
2021年1月末	10,170		△0.0	86.5	—
2月末	10,170		△0.0	63.3	—
3月末	10,169		△0.0	84.7	—
4月末	10,169		△0.0	82.5	—
5月末	10,168		△0.0	94.1	—
6月末	10,167		△0.0	67.4	—
7月末	10,167		△0.0	67.7	—
8月末	10,167		△0.0	67.6	—
9月末	10,166		△0.1	92.3	—
(期末) 2021年10月11日	10,166		△0.1	92.3	—

(注) 騰落率は期首比。

## 運用経過

## 期中の基準価額の推移

(2020年10月13日～2021年10月11日)



## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

## (主なプラス要因)

- ・特にありません。

## (主なマイナス要因)

- ・日銀のマイナス金利政策の影響により、保有債券の利回りがマイナス圏で推移したことが、マイナス要因となりました。

## 投資環境

(2020年10月13日～2021年10月11日)

短期金融市場では、日銀がマイナス金利政策を継続していることへの影響から、1年国債利回りが概ね-0.10%をやや下回る水準で推移する展開となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2020年10月13日～2021年10月11日)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、政府保証債を組み入れました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年10月13日～2021年10月11日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

## 今後の運用方針

### (投資環境の見通し)

国内短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれることから、主要な投資対象であるわが国の公社債および短期金融商品の利回りがマイナス圏での推移となり、今後も厳しい運用環境が続くと予想されます。

### (運用方針)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

## ○1万口当たりの費用明細

(2020年10月13日～2021年10月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.001 (0.001)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	0	0.001	
期中の平均基準価額は、10,168円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年10月13日～2021年10月11日)

## 公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	特殊債券	千円 412,077	千円 — (380,000)

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( ) 内は償還等による増減分です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年10月13日～2021年10月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2021年10月11日現在)

## 国内公社債

## (A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	409,000 (409,000)	410,573 (410,573)	92.3 (92.3)	— (—)	— (—)	— (—)	92.3 (92.3)
合 計	409,000 (409,000)	410,573 (410,573)	92.3 (92.3)	— (—)	— (—)	— (—)	92.3 (92.3)

(注) ( ) 内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特殊債券（除く金融債）	%	千円	千円	
第11回政府保証原子力損害賠償支援機構債	0.001	50,000	50,020	2022/ 5 /20
第149回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.0	50,000	50,072	2021/11/30
第155回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.9	120,000	120,354	2022/ 1 /31
第157回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.9	80,000	80,297	2022/ 2 /28
第170回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.801	109,000	109,828	2022/ 8 /31
合 計		409,000	410,573	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2021年10月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 410,573	% 92.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	34,491	7.7
投 資 信 託 財 産 総 額	445,064	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年10月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	445,064,140
コール・ローン等	33,769,356
公社債(評価額)	410,573,313
未収利息	554,014
前払費用	167,457
(B) 負債	1,018
未払利息	31
その他未払費用	987
(C) 純資産総額(A-B)	445,063,122
元本	437,805,475
次期繰越損益金	7,257,647
(D) 受益権総口数	437,805,475口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,166円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.0166円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は422,513,077円、期中追加設定元本額は30,060,828円、期中一部解約元本額は14,768,430円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

アジア・オセアニア好配当成長株オープン (毎月分配型)	325,834,704円
米国短期ハイ・イールド債券オープン	49,037,879円
新興国連続増配成長株オープン	26,594,229円
PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)	21,240,275円
PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(年2回決算型)	8,820,553円
アジア・オセアニア好配当成長株オープン(1年決算型)	4,512,263円
米国優先リート17-07(為替ヘッジあり)	1,765,572円

## ○損益の状況 (2020年10月13日～2021年10月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,280,442
受取利息	3,306,015
支払利息	△ 25,573
(B) 有価証券売買損益	△3,550,429
売買損	△3,550,429
(C) その他費用等	△ 6,454
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 276,441
(E) 前期繰越損益金	7,272,821
(F) 追加信託差損益金	509,172
(G) 解約差損益金	△ 247,905
(H) 計(D+E+F+G)	7,257,647
次期繰越損益金(H)	7,257,647

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;お知らせ&gt;

該当事項はございません。